



SERVICE CLUB TO THE YMCA

Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
 NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOME NAKAKU,
 NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 ビジョンある奉仕
- ② アジア会長標語 深めよう地域社会に兄弟愛を
- ③ 日本区理事標語 勇気ある変革・愛ある行動! -日本区6000への実りを求めて-
- ④ 中部部長標語 今こそワイズ!
- ⑤ 会長標語 感動を心に若い力を!

1995年 3月号

Inspiration to Spread Our Wings with Yothful Power

〈今月の聖句〉

あなたたちは、夕方には「夕焼けだから、晴れた」と言い、朝には「朝焼けで雲が低いから、今日は嵐だ」と言う。このように空模様を見分けることは知っているのに、時代のしるしは見る事ができないのか。

マタイによる福音書 第16章2節～3節

1995年3月例会のご案内

第一例会

と き ; 3月13日(月)19時～21時
 と ころ ; 名古屋YMCA 3階AVホール
 プログラム : 卓話「マルチメディア・ほんの入口」
 講師 清水裕一氏

- ・今回は、日本電話施設株式会社、技術研究所・技術開発室々長の清水裕一氏を迎え、情報化社会の現代におけるマルチメディアと通信との関係から、その現状と将来展望についてお話をうかがいます。
- ・今月はTOF (Time of Fast) - 断食の時 - として、食事の用意はありません。世界の飢餓に苦しむ人々を覚え、その分の金額を支援のために捧げる奉仕活動とします。
- ・韓国サンドルクラブ来名の最終打合せとなります。全員参加を!!

ドライバー ; 荒川恭次 アシスト ; 林 勝博兄
第二例会

と き ; 3月28日(火) 19時～20時30分
 と ころ ; 名古屋YMCA 4階407号室
ブリテン委員会
 と き ; 3月20日(月) 19時～20時30分
 と ころ ; 名古屋YMCA

特別プログラム

- ◎韓国サンドルクラブ来名
 3月17日(金) 13時30分、名古屋空港に到着となります。19日(日) 14時30分の出発までの受入れスケジュールについては、服部兄をチーフに準備委員会にて原案作りをしています。滞在期間中の協力をお願いします。
- ◎17thフィリピンワークキャンプ
 3月30日(木) 18時より、帰国後の慰労会を行います。(4頁参照)

グランバストーク

「阪神大震災の中のYMCA」

阿部 一 雄

去る、1月17日未明に起きた阪神大震災は、大変多くの犠牲者を出しました。私も建築業の一端を担う者として、責任の重大を痛感する出来事でありました。そして、私は2月7日にYMCAの方々の協力を得て、神戸へ炊き出しに参加致しました。そこで被害にあわれた方々と接し、ほんの少し震災について理解することができました。ボランティアというにはあまりにも短い時間でしたが、小さい子供がお母さんに連れられて、テーブルの上できしめんをはして一生懸命食べている姿を見ているうちに、何だか楽しさを覚えました。

不謹慎かもしれませんが、我々の出来ることは少しだけでも、本当に来て良かったなと思ったら、楽しくなってきたのです。

今回ボランティアという機会を与えていただいて、本当に良かったと思っています。というのも、ボランティアをしたくとも、いろいろな制約で出来ないでいる人達が、水道もガスも暖房もない神戸YMCAに、多くのボランティアが集まり(多分100人以上)、地域に根ざした活動をしていました。そうした活動ぶりを見ていると、たった1日の活動で満足している私とは比べものにならない程で、大変頭の下がる思いでした。このように形は違いますが、YMCAが核となって、いろいろな形でボランティア活動が進行しています。こんなときに核と成り得るYMCAは素晴らしい組織だと思いました。

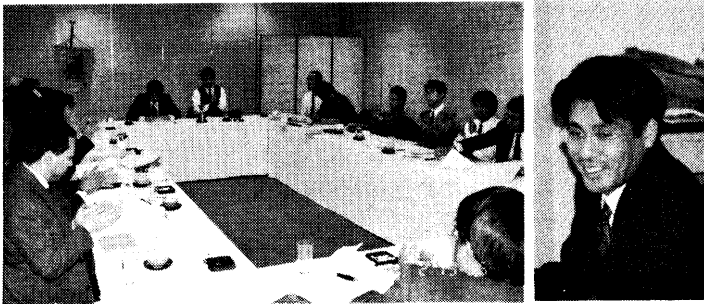
2月28日現在	例 会 出 席 状 況				B F ポ イ ン ト		ク ラ ブ フ ァ ン ド (2 月)	
	在 籍 者	24名	第 1 例 会	18名	当 月 ・ 切 手	-	ニ コ B O X ノ ー ト	-
	例 会 出 席 者	19名	第 2 例 会	12名	当 月 ・ 現 金	-	フ ェ ン ド	-
	当 月 出 席 率	79%	部 会 他	15名	累 計	-	合 計	-

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 =強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う=

2月第1例会 卓話

滝川 眞 充

2月13日不二パークホテルにおいて第1例会が開催されました。今回は総会と韓国サンドルクラブとのIBCの締結へ向けての諸事項の打ち合わせ、阪神大震災に対する支援についての報告・お願い等盛り沢山のため、卓話は30分に短縮され、資料も準備し万全な体制で望まれた尾崎史忠兄には大変ご迷惑をかけました。



卓話『震災による国内景気展望』

尾崎兄の勤務するナショナル証券は、社名通り松下電器の創始者松下幸之助氏のポケットマネーで出来た会社であり、その他の証券会社は、ほとんどが金融資本で成り立ち産業

資本では唯一の会社との事。

阪神大震災をマクロ経済時に国内総生産GDP(Gross Domestic Product)から喪失した生産力を推定すると2.3%、約26兆円にもなるそうです。これは、国内の紳士服の年間売上高2兆円、出版業界2兆円から推察するに莫大な金額になります。震災地域で喪失した生産力を他地域で補完することは机上では可能であるが短期間では無理のようです。神戸市を本社にもつ企業では、神戸製鋼、伊藤ハム、住友ゴム、ワールド等たくさん有りますがトヨタの看板方式にも影響を及ぼしています。兵庫県知事によると都市基盤復旧費用は10兆円超の見通しではあるが、これは対黒字金額と同等で、国債発行残高が200兆円を抱える国の支援を待たなければならない。今回の震災による景気への影響は94年度はマイナスだが95年度以降は復旧事業によるプラス効果に繋がると推測されるそうです。

未曾有の大規模な震災の復興は、短期間でなし遂げることは不可能であり、我々ワイズのメンバーも長期にわたる支援活動が望まれます。

韓国仁川市サンドルクラブ訪問記

馬場 寅 太郎

2/9 AM9:30一行8名はIBC提携のため空路ソウルへと旅立ちました。3日間という短い海外旅行ということもあり、最初は淡々としていましたが、金浦空港税関から一步外へ出ると池(チー)会長以下11名が一人ずつに花束を手渡してくれたのには一瞬自分が人気タレントになって迎えられた様な気がしました。

用意されていた観光バスに乗り、他のクラブ員でありながら応援してくれている旅行社経営P.J.朴さんと通訳、ガイドにより仁川市へと向かいました。

仏料理レストランを4店経営しているとい

う李さんの店で互いの紹介を兼ねて昼食をとりました。昼食後は市内観光に出かけました。現在地下鉄開通に向けての工事で道路は混雑していましたが、仁川市は人口230万人の韓国第4の都市で、工業都市でもあり、釜山に次ぐ第2の港湾都市でもあります。(名古屋によく似ている)仁川といえば南北朝鮮戦争において国連軍が上陸作戦を敢行した地でもあります。その記念館を訪れた後、横浜、神戸に匹敵する港臨海デートスポットを散策しました。昼間なのでカップルにあてられなくてよかった、よかった。

夕方には、サンドルクラブが独自で運営している事務所を訪れました。専任の女性事務員さんもいて全員で会議することもできクラブの風格と13年の歴史が感じられました。サ

ソンドル側は25名余りの会員が出席され、互いのメンバーの紹介、双方の会長のスピーチの後クラブの歴史にもふれ意義深い会合でしたが即IBC締結とまではいかず3月のソンドル来名の後4月にグランパスが再度仁川訪問により締結というスケジュールになりました。記念として8名全員がチャーター時のメダルを教授されおみやげに仁川エキスをいただきました。

夕食は焼き肉レストランにて親交を深めました。ソンドルのメンバーは酒豪ぞろいで事務局長の朴さんは中でも特に強く我々もたじたじでした。池野兄とは名コンビ?を結成。当日宿舎のチラクシホテル(ホテルとバスは市議員でもある文先生の経営)にチェックインし、ホテルのバーにて日韓カラオケ&ディスコ大会に興じ12:00すぎに、めまぐるしい1日を終えました。



翌2/10韓国式朝食後ソウルに戻り昌徳宮(秘園)という故宮の庭園を見物しました。昼食は丸ごとチキンの腸づめ煮(韓国名は忘れました)というスタミナ料理を賞味しました。服部兄のスタミナ旺盛ぶりはソンドル側をも驚かせました。昼からソンドル側とは分かれ買い物等自由行動となりました。2日間の緊張の余波か夕食は宿のユリアナホテルの和食レストランで豪勢に超フルコースにて締めくくりました。

2/11金浦空港にて再会を約束、しばしの分かれを惜しんだ後帰路につきました。3日間を通じ、加藤姉は1番人気でソンドルのメン、メネット双方を通じてのアイドルでした。

ソンドルクラブの大歓迎ぶりは筆舌を尽くせぬものがあり、大変な感謝をすると共に3月来名時にはそのお礼をしたいと思っております。

“阪神大震災”今できること

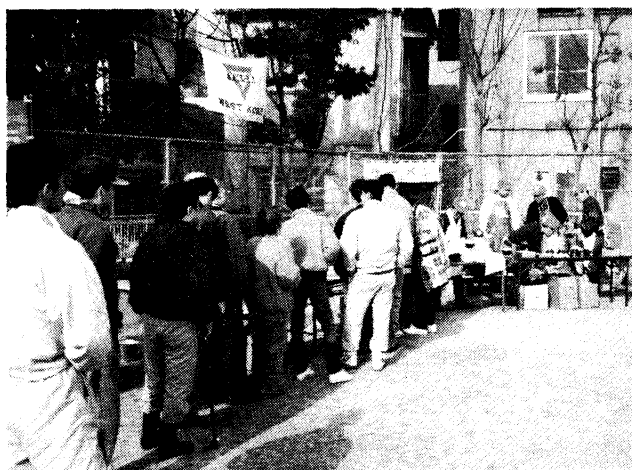
誰もが経験したことの無い状況下で、個人としてワイズとして、YMCAとして様々な取り組みが現在も行われていますが、クラブとして今までの働きをご報告します。

- ◎1月21日(土)名古屋地区6ワイズ連絡会
 - ・日本区へ義援金50,000円を送付
 - ・6ワイズの活動資金48,000円を拠出
- ◎1月26日 西神戸Y炊き出し参加、早川
- ◎1月29日 街頭募金2,024円
- ◎1月31日 炊き出し参加、板倉、吉田一
- ◎2月4日 炊き出し参加、三井、坂口、加藤、木野村
- ◎2月5日 街頭募金1,124円
- ◎2月7日 炊き出し参加、阿部、坂口メネット
- ◎2月12日 街頭募金1,794円
- ◎2月22日 炊き出し参加、吉田一、井川、油口、坂口メネット

この他にも義援金、物資の提供等で多くのメンバーに協力をいただいております誠に感謝です。

2月18日より6ワイズ連絡会を発展させオール名古屋YMCAの支援組織として“名古屋YMCA阪神大震災救援活動を支援する会”が発足し息の永い活動を行う予定です。

皆さんの一層のご支援をお願いします。



グランパスニュース

(1) 2月10日、11日、12日の韓国サンドルクラブへの当グランパス訪問の返礼として、サンドルクラブの方々に来る3月17日、18日、19日の3日間来名されます。14名の予定との事でグランパスとしてメンバー全員での精一杯の歓迎をしたいと思います。

(2) 第2回中部評議会及び研修会3月21日(祝) 13:00より上前津AVホールにて開催されます。研修会の講師に次々期日本区理事の吉田一誠氏が「日本区6000について」の講演をされますので多数メンバー出席のほどよろしくお願い致します。

(3) 第17回フィリピンワークキャンプ帰国歓迎パーティーが3月30日の18時より開催されます。昨年様に当グランパスとして食事等のサービスを行行予定です。

(4) 韓国インチョン市サンドルクラブとのIBC締結に向けて3月17日からの先方来名時に協議後初のIBC締結を予定しています。締結式はインチョン市において行行予定ですのでグランパスとして全員出席の意気込みで話を進めていきます。

(5) 第49回日本区大会が横浜で開催されます。今年度の締めくくり全員参加でお願いします。よろしくお願ひします。

日程：6月2日(金)～4日(日)

会場：国立横浜国際会議場

(6) 来期中部CS・TOF役員を、当クラブより選出する事になりました。より飛躍する為にも、期待にこたえ活動をお願いします。

ハッピーバースデー

- メネット 11日 服部 智子
- 16日 吉田 聡子
- 23日 坂野 三知代
- コメット 5日 板倉 未映
- 19日 宮木 菜々子
- 23日 井川 英明

94-95 出席表

95.2.28

No	例会氏名	2/10 12韓国	2/13 第一例会	2/17 IBC	2/20 ブリテン	2/23 IBC	1/28 第二例会	出席ポイント
1	阿部 一雄	/	○	○	/	○	○	13
2	荒川 恭次	○	○	○	/	○	○	20
3	井川 幸吉	/	○	○	○	○	○	19
4	池野 輝昭	○	/	/	/	/	/	14
5	内垣内 登壘	/	△	/	○	/	/	14
6	馬場 寅太郎	○	○	/	/	/	/	10
7	尾崎 史忠	/	○	/	/	/	/	13
8	加藤 道子	○	○	/	/	/	○	19
9	坂口 功祐	○	○	/	○	/	○	34
10	坂倉 洋	/	○	/	○	/	○	26
11	佐藤 壽晃	/	○	○	/	○	○	18
12	真田 幸治	/	/	/	/	/	/	2
13	滝川 眞充	/	○	/	/	/	○	3
14	丹羽 真清	/	○	/	/	/	/	18
15	服部 庄三	○	○	○	/	○	○	23
16	早川 隆	○	○	/	/	/	/	15
17	林 勝博	/	/	/	/	/	/	1
18	坂野 清治	/	○	/	/	/	/	8
19	三井 秀和	○	○	○	○	○	/	31
20	宮木 常二郎	/	/	/	/	/	/	0
21	油口 直広	/	/	/	/	/	○	14
22	吉田 一誠	/	○	/	○	/	○	26
23	吉田 正	/	○	/	/	/	/	14
24	木野村 映	/	○	○	○	○	○	32

1994-1995年度役員

会長	三井 秀和	CS BF	加藤 道子
副会長	林 勝博		吉田 正
書記	滝川 眞充	IBC	阿部 一雄
	馬場寅太郎		池野 輝昭
会計	尾崎 史忠		佐藤 壽晃
	丹羽 真清	プログラム	坂倉 洋
会計監査	宮木常二郎		井川 幸吉
直前会長	坂口 功祐	ファンド	服部 庄三
連絡主事	木野村 映		滝川 眞充
EMC	阿部 一雄	ブリテン	坂野 清治
	油口 直広		坂口 功祐
YMCA.S	荒川 恭次		内垣内登壘
	早川 隆		吉田 一誠
			木野村 映